日本共産党

3月議会一般質問

星田北・駅北の土地区画整理事業について

【問】 星田北・駅北地区では大規模商業施設を核とした土地区画整理事業が計画されているが、事業の内容が市民に知らされていない。市民に情報を知らせ、意見を聞くべきと考えるが。

【答】区画整理事業は地権者が組合を設立して行う事業であり、広く市民の意見をいただく位置づけではない。一定の方向が定まれば、適切な時期に情報提供に努めたい。

【意見】市として多額の税金投入を予定しており、駅周辺のまちづくりは市民全体にかかわる。地元をはじめ市民に情報を知らせ意見をよく聞く必要がある。

子どもの貧困対策について

子どもの貧困は6人に1人へと広がっており、貧困を断ち切る支援策が求められています。

【問】就学援助の拡充、給付型奨学金の創設、ひとり親家庭の負担軽減等に対する考えは。

【答】就学援助の認定基準額は実際の家族構成に近い算定となるよう見直しの検討をしたい。給付型奨学金は難しいが、現行5月の貸付時期を早める検討をしたい。婚姻歴のないひとり親家庭への寡婦控除（保育料減免など）適用を、各市の動向を踏まえ検討したい。

【問】交野の子どもの実態調査及び、貧困対策（経済・教育等）計画は。

【答】庁内の推進体制の整備後、計画を策定し施策の展開を図りたい。

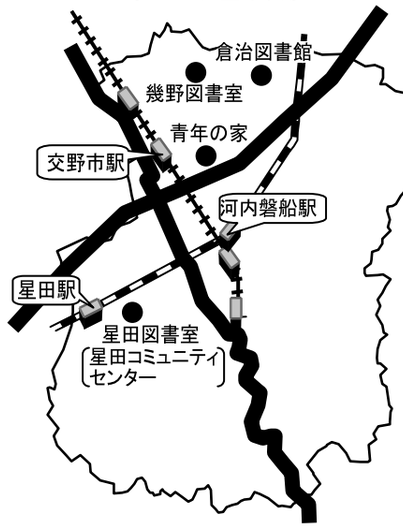
星田地域の図書館の充実を

星田周辺地域には、星田コミュニティセンターの小さな図書室しかなく、図書館の充実が求められています。

平成元年に星田図書館構想が策定されましたが、図書館整備の国補助金が廃止されたことなどから、計画は休止したままです。

市は今年度、公共施設全体について今後の管理計画を策定する予定です。日本共産党はこの計画で、これまで遅れてきた星田地域の図書館整備を必ず検討するよう求めました。

市内の図書館（室）



市内の図書室（館）の蔵書数・面積など

	蔵書数（冊）	面積	新聞の配置
倉治図書館	93,008	973 ㎡	朝日・産経・読売・日経・スポーツ
青年の家図書室	65,551	271 ㎡	朝日・産経・読売・日経・毎日
幾野図書室	36,033	227 ㎡	毎日
星田図書室	20,978	62 ㎡	なし

公立幼児園民営化の根拠くずれる！

保護者らの不安が広がるなか、市は、公立幼児園の1園民営化をコスト削減目的ですすめようとしています。しかし、現在、交野市では保育の約70％を民間が担っています。

日本共産党は、本来の保育の公的責任を果たさないものだとして反対しています。

市がいう民営化のメリット	日本共産党の主張
老朽化による建物の改修や建て替えコストが大幅削減できる。公立だと全額市負担になる。	公立であっても、建て替え費用の１/２は交付税措置がなされ、残り１/２の 80%についても社会福祉事業債を充てることが可能となっており、市の説明は正確ではない。
保育運営にかかるコスト（特に人件費）が削減できる。	安易な人件費の削減は、保育の専門家として、研修や実践を積み、保育の質を守ってきた、交野市の財産を切り捨てるものであり、到底納得できない。
保育の質も受託法人との協定締結で確保できる。	障がい・アレルギーのある児童、子育て困難家庭等の受け入れ、民間保育園に移行することでの在園児の影響が考えられると認めているにも関わらず、他市での事例などなにも調査せず、民営化を進めることは無責任である。

介護サービス利用の際は、必ず要介護認定の申請を！

29 年度から介護サービスの申請手続きが、市窓口での簡単なチェックシート（25 項目）でも可能となります。しかし、これが問題ありで、要介護認定を受けていないと訪問看護や福祉用具の貸与、ショートステイ等を利用できない事態がうまれる可能性があります。サービスを利用する際は、これまでのように要介護認定の申請を行って下さい。

■平成 28 年 3 月議会での主な議決結果

案件名	賛否の状況（○賛成　×反対） 共産党 中上	共産党 皿海	共産党 藤田	公明党 友井	公明党 新	公明党 三浦	市民クラブ 久保田	市民クラブ 野口	自民党 片岡	自民党 雨田	大阪維新の会 黒瀬	大阪維新の会 岡田	会派無所属 前波	会派無所属 山本	会派無所属 松村	日本共産党の見解
平成 28 年度交野市一般会計予算について	×	×	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	公立幼児園民営化、学校給食センターの調理民間委託など公共サービス後退の方針を盛り込んだ市長戦略に基づく予算編成であるため反対。
平成 28 年度交野市国民健康保険特別会計予算について	×	×	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	平成２８年度も保険料が値上げされる見通しである。高すぎる保険料の引き下げを求めて反対。
平成 28 年度交野市介護保険特別会計予算について	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	平成２９年度から始まる新総合事業では現行と同等のサービスが確保されるよう求めて賛成。
平成 28 年度交野市後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	平成２８年度から保険料は若干引き下げとなり、軽減措置も継続されることから賛成。

友井議員は議長のため、採決には参加していません。